

株式会社ドラッグイレブンによるフクダ薬局株式会社の株式 100%譲受による経営権取得

(合意契約締結時期) 2001年12月

(当社の立場) フクダ薬局から相談を受け、ドラッグイレブンへ提案。双方からの依頼による仲介。

(案件の意義)

フクダ薬局は佐賀県を中心に 10 店舗のドラッグストア・調剤薬局を運営する企業であるが、業界の競争環境がますます激化する中、事業発展の将来性を考慮していた。一方、ドラッグイレブンは九州地区で積極的に店舗展開を進めるドラッグストア企業で、強力なドミナントを形成し競合他社に対する優位性を保っていくうえで、これまでに出店のない佐賀県への本格的出店が重要な課題の一つとなっていた。このような両社に対し、フクダ薬局がドラッグイレブンのグループの一員となり、協力して相互に発展していくことを提案。両社の意向が合致した。